

保育士養成に係る各段階における現状・課題と主な対応策（案）



現在の施策	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の職場体験の促進 保育士修学資金貸付等事業 就職促進支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の処遇改善 ICT導入、保育補助者による業務効率化の支援 保育者宿舎借り上げ支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・保育所支援センター設置運営事業 潜在保育士再就職支援事業 若手保育士や保育事業者への巡回支援事業
課題	<ul style="list-style-type: none"> 教員・保護者の保育の仕事への理解増進 <p>(入学時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定員充足率の低迷 <p><平成30年度入学者 厚労省調べ> 大学88% 短大:77% 専門学校59%</p> <p>(卒業時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業生の15%が一般職に就職 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の約半数は経験年数が8年未満。 キャリアアップしながら生涯働ける職場づくり 魅力ある職場づくりに向けて、雇用管理改善と業務効率化の推進 <p><保育士を辞めた理由 平成30年度東京都調査> 「職場の人間関係」34%, 「給料が安い」29%, 「仕事量が多い」28%, 「労働時間が長い」25%, 「妊娠・出産」22%, 「健康上の理由」21%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 潜在保育士と保育所とのマッチングに関し、保育士・保育所支援センターと、養成校や保育現場との連携促進 個々の就業希望者の状況に応じたきめ細かなマッチング <p><保育士就業経験がある者の保育士再就職時の希望条件 平成30年度東京都調査> 「通勤時間」80%, 「勤務日数」78%, 「勤務時間」76%, 「給与等」64% 「雇用形態 パート・非常勤採用」56%, 「働くことが可能な家庭の状況」43%, 「自身のキャリアアップが可能 やりがいを感じられること」38%, 「雇用形態 正社員採用」38% 施設の運営奉仕への納得感37%、 「自身の健康状況の改善」20%</p>

主な対応策（案）	保育士の職業の魅力の発信の向上	生涯働ける魅力ある職場づくり	保育士資格を有する方と保育所とのマッチングの改善
保育所	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と園の方針を共有し、保育の理解を。 保護者に保育所での保育参加を呼びかけ。 地域住民とつながる開かれた保育所へ。 近隣の保育士を対象とした公開保育の促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の推進（保育士のキャリアパスの明確化や柔軟な勤務形態の推進、役割・専門性に応じた処遇。） ICTや保育補助者の更なる活用により、業務効率化の推進。 ノンコンタクトタイムを確保し、「子ども理解」を中心に語り合える環境を実現 	<ul style="list-style-type: none"> 園の保育方針や運営方針の見える化。 地域住民が保育に参加、活躍する機会づくり。
保育団体	<ul style="list-style-type: none"> 自治体・養成校と連携し、保育の魅力を発信。 顕彰制度の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 所長（園長）、主任保育士対象の「働き方改革の推進、業務効率化等」に関する研修の推進。 働き方改革、業務効率化に関する好事例の発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・保育所支援センターについて、自治体と連携して、周知する。
保育士養成校 養成校団体	<ul style="list-style-type: none"> 実習の充実等学びの質の向上。オンラインも活用した養成校の学生と現役保育士との交流・対話。 実習指導に携わる者に共通の研修の開始。 HP等により、保育士の魅力・専門性を発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後1～2年目の保育士について、勤務園と連携して支援・教育し、専門職の基礎を確立（初任者研修の検討。）。 保育士としての悩みや課題を抱えている卒業生が母校で相談できる環境づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生の横のつながりを強化、離職防止。 保育士が離職後に、復職できるようなフォローアップ体制作り。
自治体	<ul style="list-style-type: none"> 養成校や保育団体と連携して、中学高校への働きかけ、保育の仕事の魅力を発信・体験するイベントの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインの活用など研修に参加しやすい環境を構築。 働き方改革のモデル園の検討。 働き方コンサルタントによる保育所への巡回支援を推進。 必要書類の簡素化に向け、国の調査研究を踏まえ検討。 保育所のICTの推進の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・保育所支援センターの機能強化や関係機関とのネットワークの構築 学生等の資格取得支援や現役保育士の就業継続支援を行う。
厚生労働省	<ul style="list-style-type: none"> HPやSNS、マンガ等のコンテンツを活用して、魅力を発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 働き方コンサルタントによる保育所への巡回支援策を検討。 自治体と連携して、必要書類の簡素化の検討。 ICTの活用のための調査研究や、業務改善のガイドラインの作成。 シニア保育士や保育補助者の活用に係る支援策を検討。 ライフステージ等に応じた働き方の支援策や実例を整理。 保育士等が外部人材に相談しやすい環境整備の検討。 （内閣府）保育士の処遇改善について財源確保と併せ検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・保育所支援センターの好事例を収集。同センターの認知度向上の取組。 保育士離職時の住所等の登録の努力義務化を含め、潜在保育士の把握方法の検討 職業紹介事業者に関する現在の施策を推進

※上記のほか、厚生労働省において、保育士・保育現場に関するデータの充実、KPIを設定し、保育施策の効果を検証する。